
中期経営計画「IK2013」総括と新中期経営計画
「New Challenge2016」について

2014年6月2日

稲畑産業株式会社

代表取締役社長

稲畑 勝太郎

稲畑産業とは、

1. 歴史のある会社

創業 1890年、 稲畑染料店として発足



稲畑染料店(京都・西陣)

2. 商社機能と物流・製造機能などを併せ持つ会社

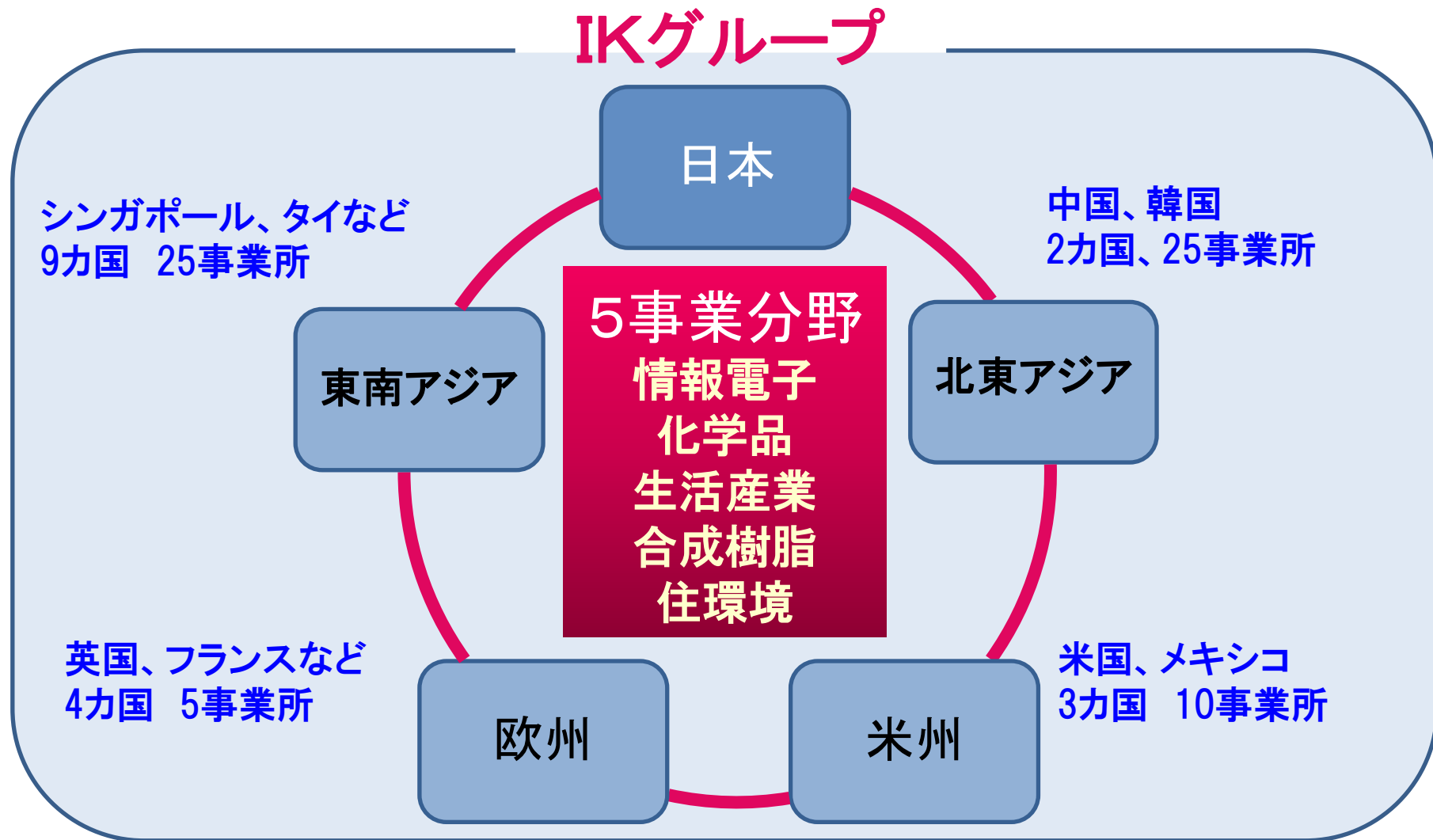
グローバルに展開する商社ビジネス

プラスチック加工拠点のアジア展開

商品やマーケットの専門知識・ノウハウに基づく企画・提案

当社の事業領域

日本と海外18カ国約60事業所において、5つの事業分野でビジネスを展開



(※1) 海外の国数・事業所数は2014年3月31日現在

(※2) 事業所数には、IKJの実質関連会社を含む

(定量目標)	2014年3月期
連結売上高	: 5,500億円
連結営業利益	: 100億円
ROE	: 7.4%
ネットD/Eレシオ	: 0.72倍以下(※)
自己資本比率	: 29.1%
想定為替レート	: 1USD=81.49円
(※) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本	

(重点施策)

1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入
2. 新興国市場への取り組みの拡大
3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化
4. グローバル人材育成のスピードアップ
5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

「IK2013」最終年度の達成状況(定量面)

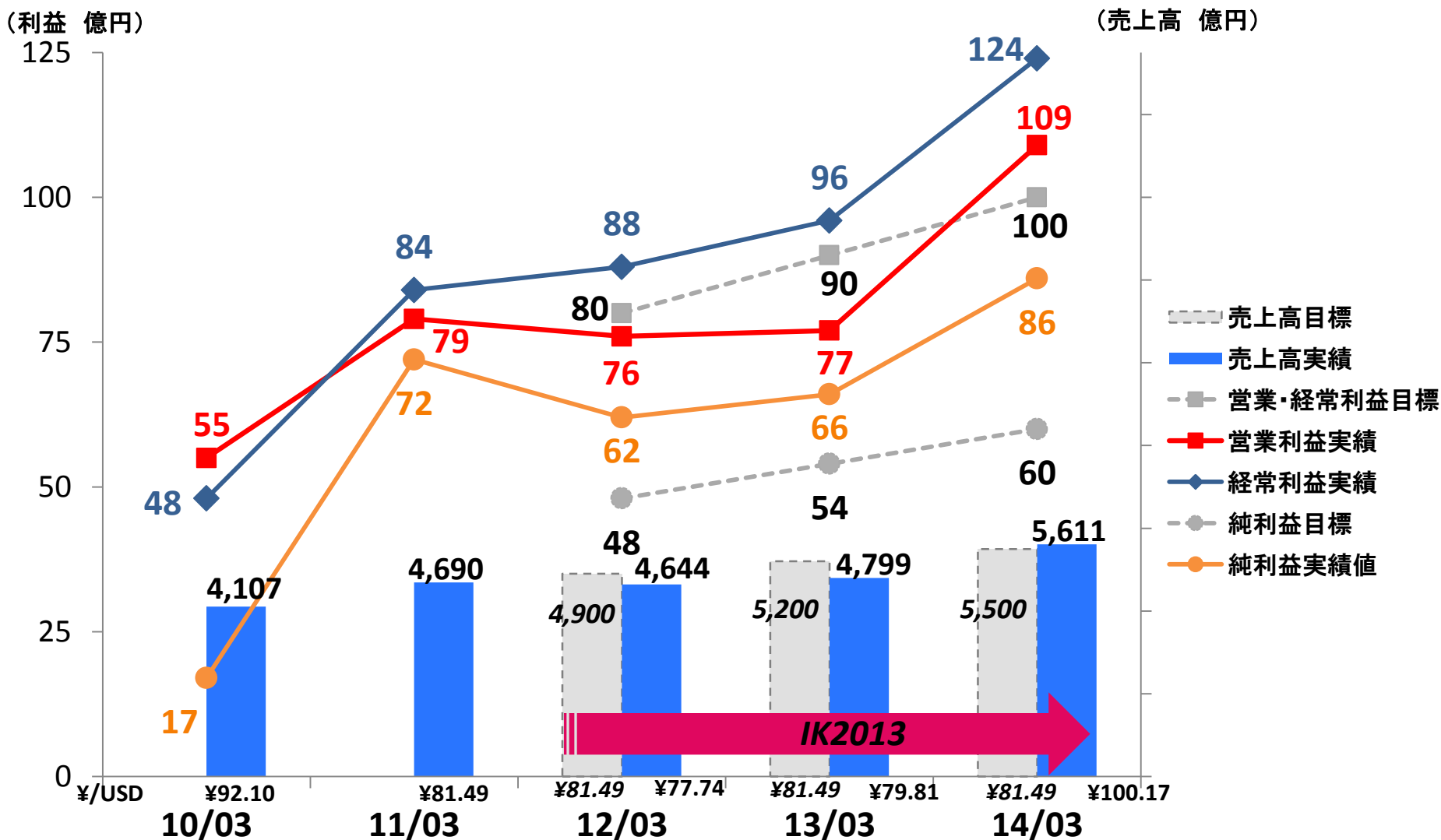


「IK2013」の定量目標を上回り、売上高及び利益において過去最高を達成

(億円)	2014年3月期				
	14/3期実績(A)	通期見通し	見通しとの差異	「IK2013」最終年度目標(B)	達成率(A/B)%
売上高	5,611	5,500	+ 111	5,500	102.0%
営業利益	109	105	+ 4	100	109.4%
経常利益	124	115	+ 9	100	124.5%
当期純利益	86	85	+ 1	60	144.5%
ROE	8.1%			7.4%	達成
ネットD/Eレシオ	0.46	—	—	0.72	達成
自己資本比率	37.7%	—	—	29.1%	達成
為替レート(米ドル)	100.17円	97.75円	—	81.49円	—

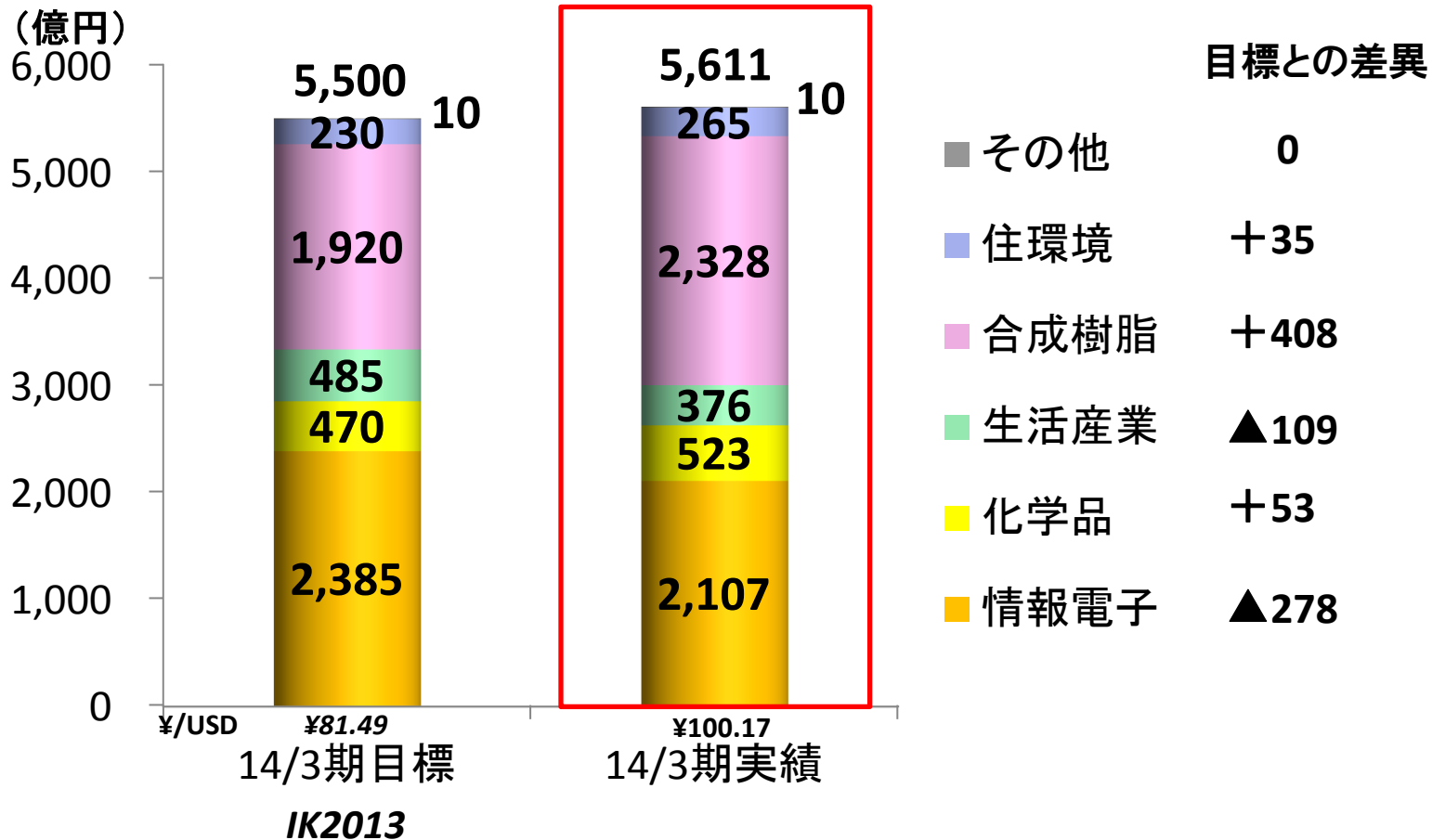
(注)「IK2013」目標は2011年5月策定。

「IK2013」実績レビュー(定量面)

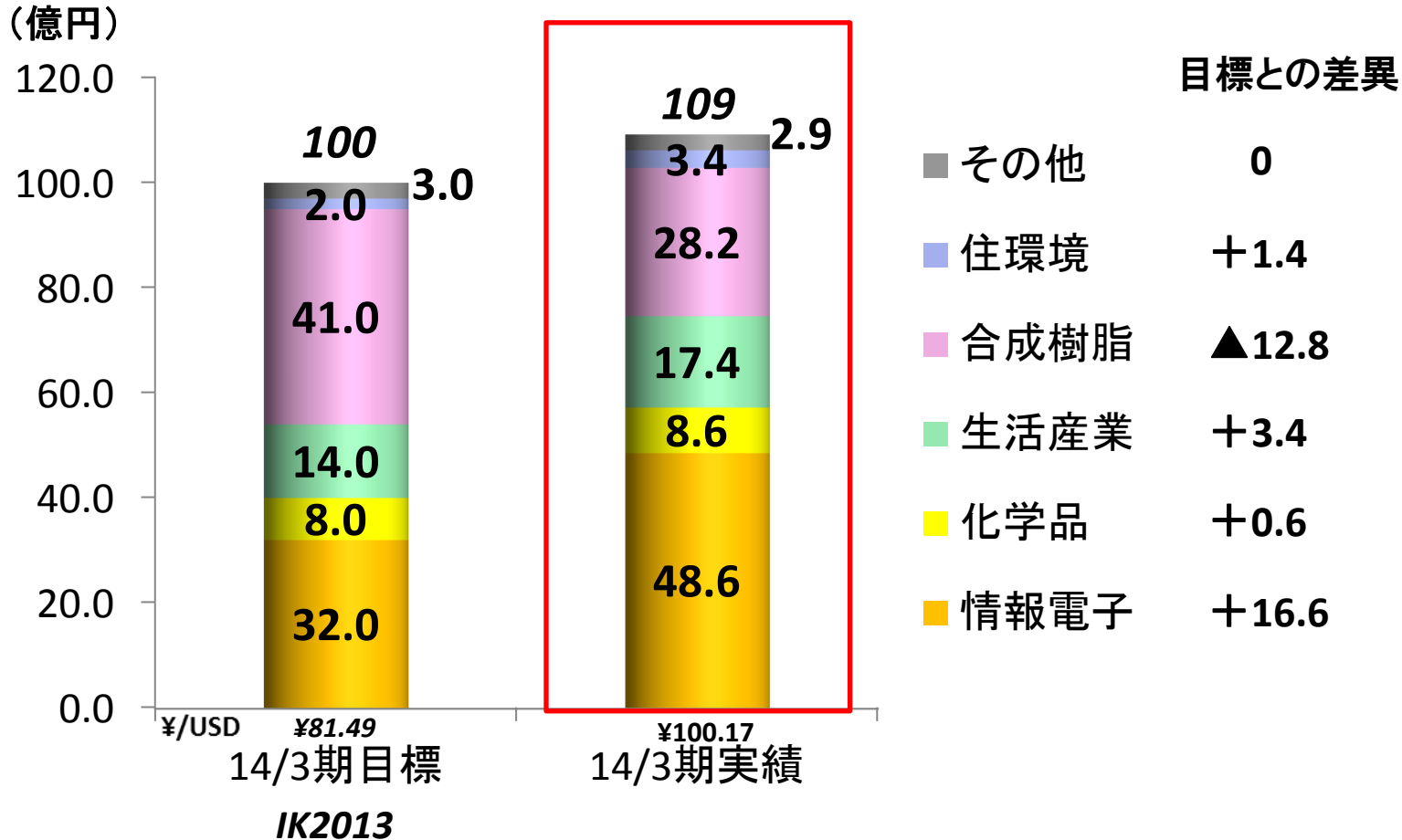


(※) 14/03期より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、13/03期について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。(本資料内、以下同様)

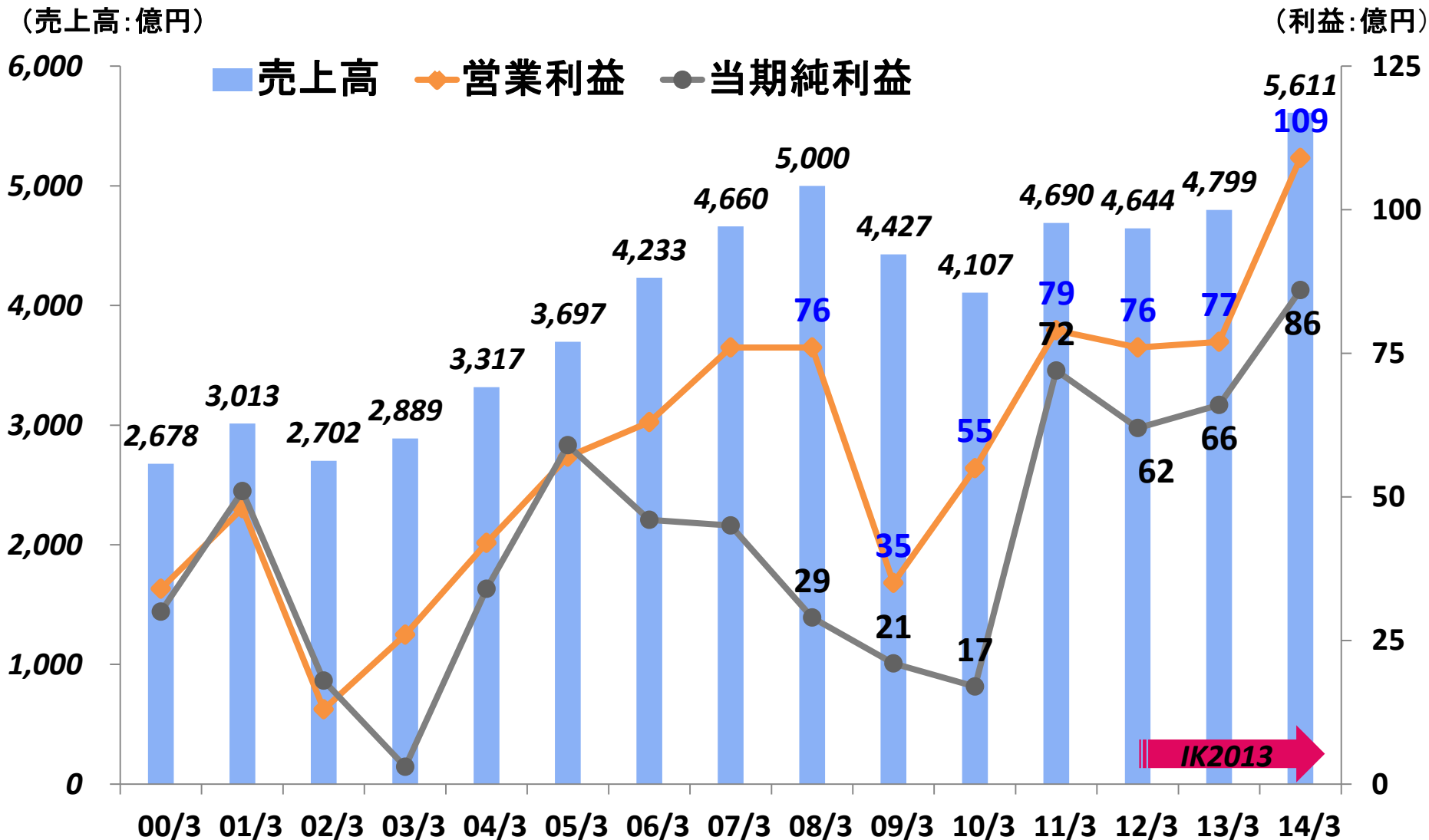
売上高



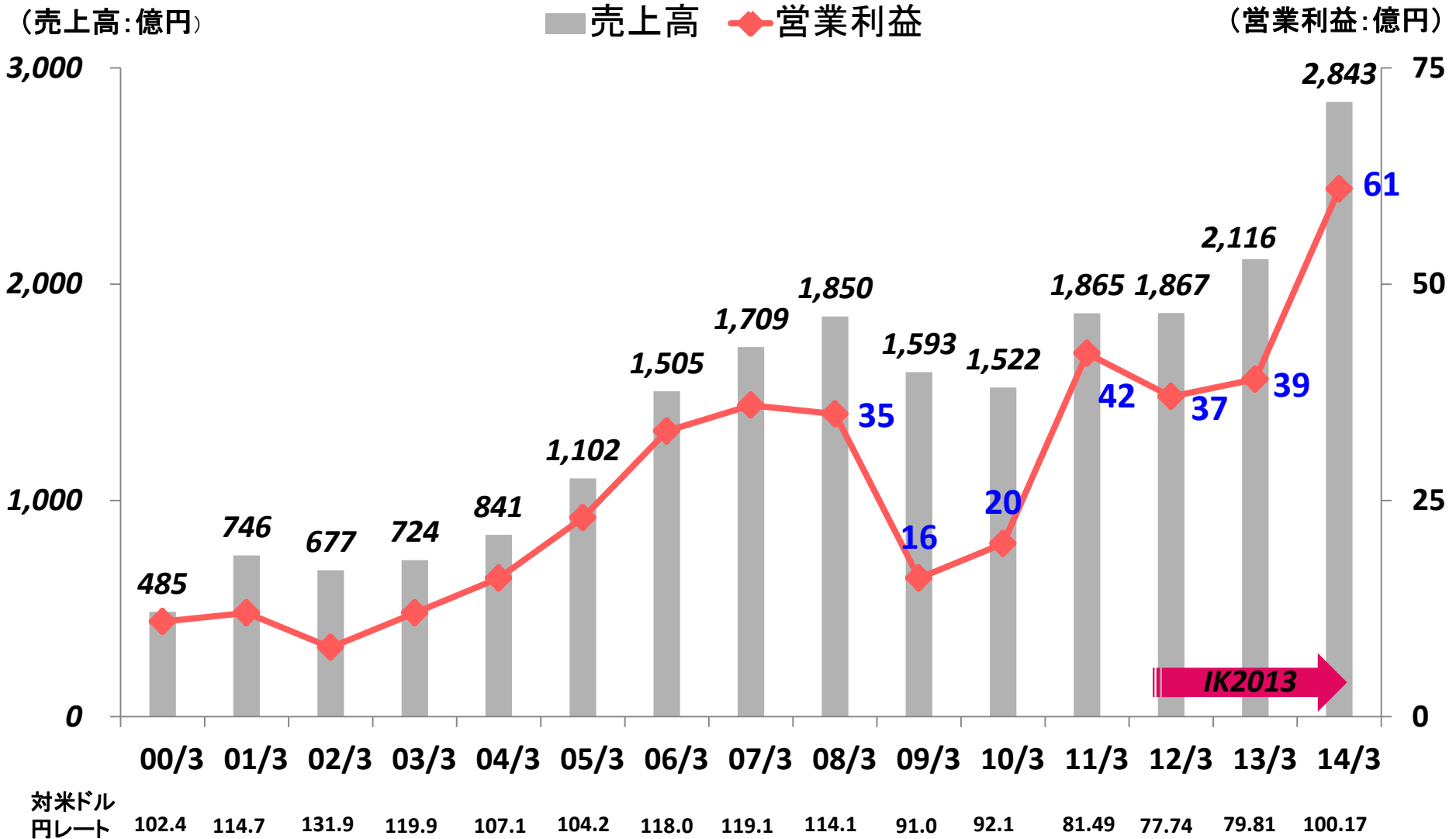
営業利益



過去15年の連結業績の推移



過去15年の海外の売上高と営業利益の推移



1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入

強みであるアジア事業を徹底的に強化



樹脂コンパウンド事業の拡充

コンパウンド統括室を中心としてワールドワイドに連携強化

- ・ 最適な地域・規模での生産体制の確立
- ・ 設備・原料の平準化、一括購入によるコスト削減



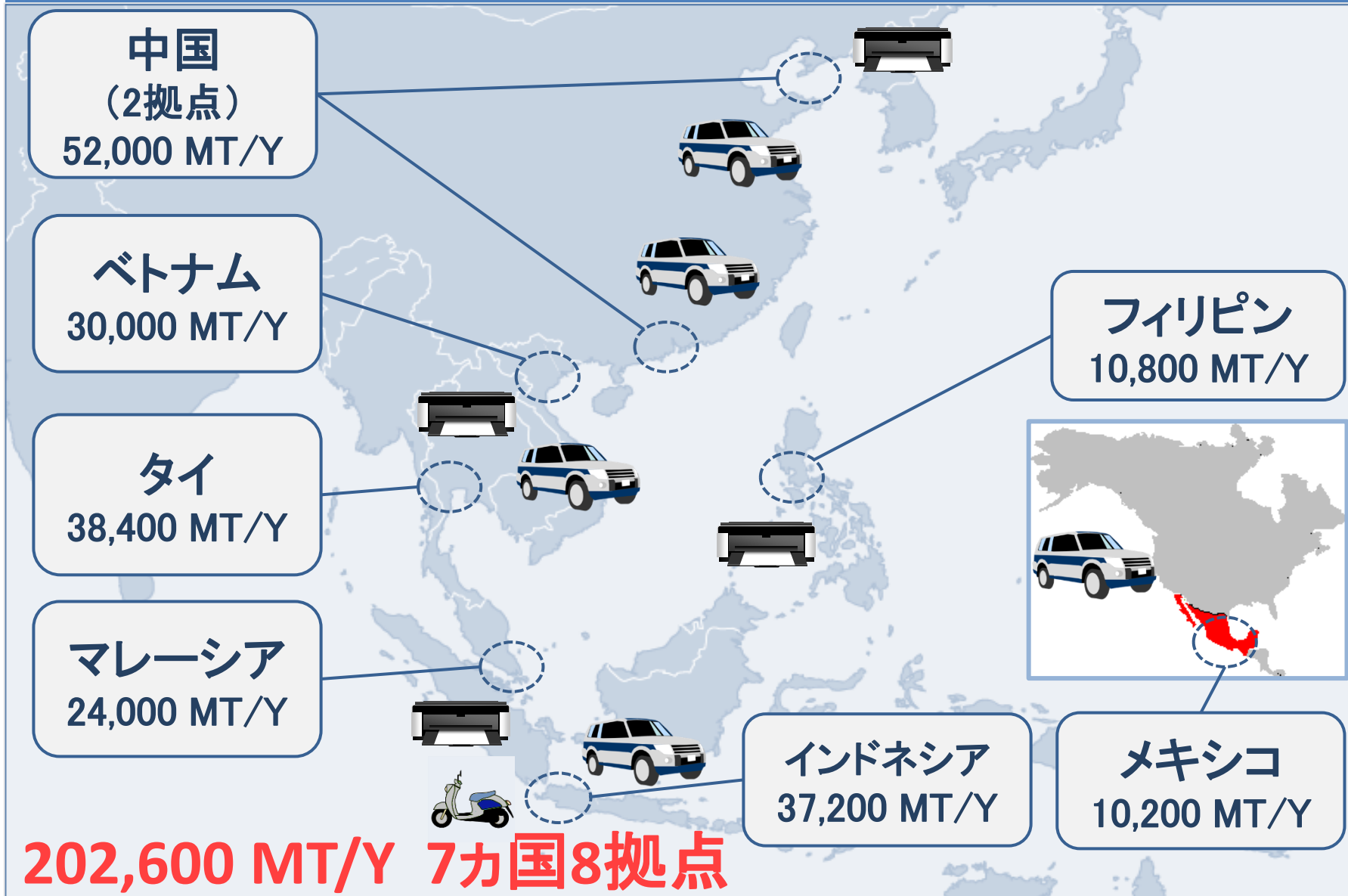
〔樹脂コンパウンド〕

「IK2013」においてコンパウンド事業で実施した主な事項

- ✓ 中国拠点の統合
- ✓ マレーシア拠点の生産縮小と遊休設備のメキシコへの移管
- ✓ 自動車マーケットに主眼を置いたメキシコ製造拠点の設立(アジア以外)
- ✓ OAマーケットに主眼を置いたフィリピン製造拠点の設立
- ✓ 顔料等原料の平準化、一括購入の実施

⇒ **コンパウンド事業を強みに合成樹脂の商社ビジネス拡大を進める**

樹脂コンパウンドの年間生産能力(ワールドワイド)



202,600 MT/Y 7カ国8拠点

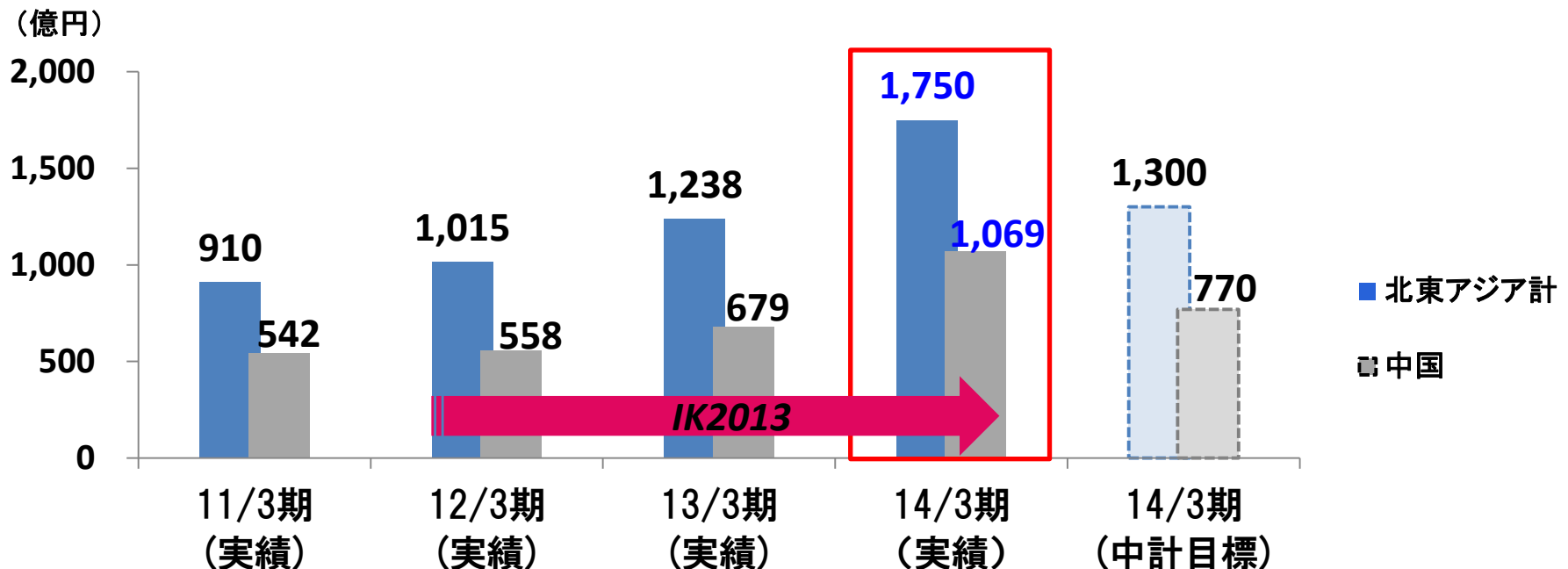
(注)拠点数・生産能力は、2014年3月31日現在 稼働前の拠点数を含む。

中国に対する取り組み

北東アジア全体、中国共に、主力事業の好調に加え円安も寄与し、14/3期中計目標値を大きく上回る

2014年3月期 売上高実績値(単純合算ベース)

北東アジア 1,750億円 うち 中国 1,069億円

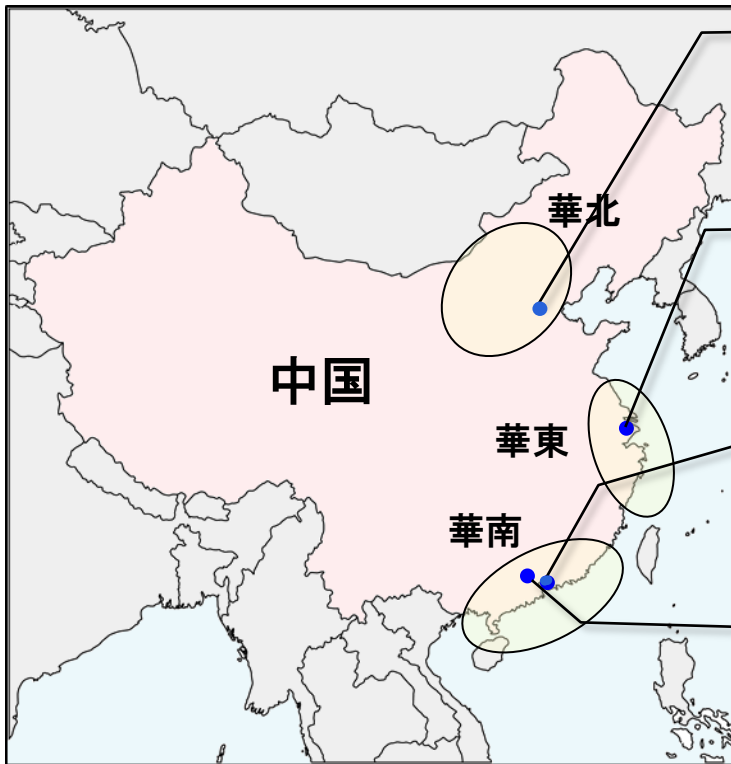


(※)北東アジアは、中国、台湾、韓国。

中国でのビジネスの状況

景気拡大テンポの鈍化がみられたものの、中国経済が依然成長を維持する中、内需中心の自動車、家電、スマートフォンなど通信関連の業界は堅調に推移

液晶関連部材や樹脂関連の販売を中心にビジネスは順調に拡大



天津稲畑

【華北地区】

- 電子電機関連の樹脂が増加

上海稲畑

【華東地区】

- 欧米自動車向けとOA関連向けの樹脂販売が好調に推移
- 現地ユーザー向け中小型偏光板の販売が増加
- 塗料メーカー向け自動車用硬化剤の販売が伸長

稲畑香港

【華南地区】

- 偏光板など液晶関連部材の販売が大きく伸長
- 韓国、タイ向けに冷凍フルーツや水産品のビジネスがスタート

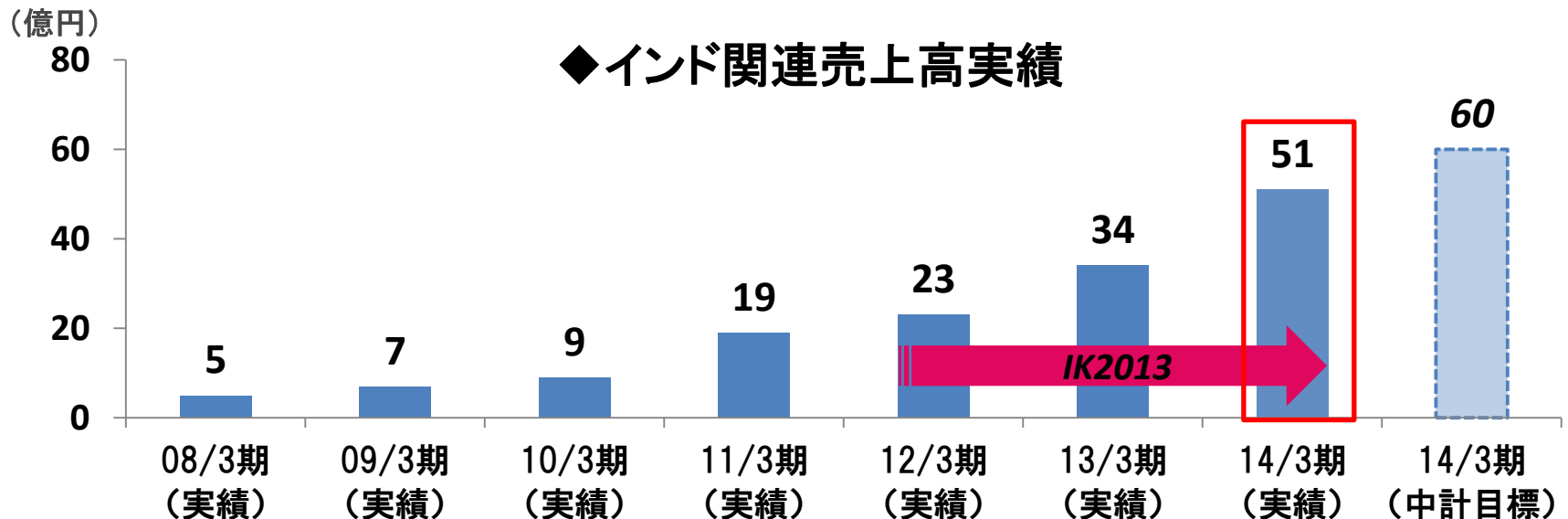
広州稲畑

2. 新興国市場への取り組みの拡大

インドに対する取り組み

インド経済の減速や、当社の日系顧客主体のビジネスモデルが生かせなかった所もあり、中計の売上高目標値に届かず

⇒ マーケットの潜在力に変わりはなく、長期的視野で引き続き注力



3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

電池関連ビジネス(太陽電池、リチウムイオン電池(LIB))

マーケット状況

太陽電池 (一) 市場の供給過多と価格下落

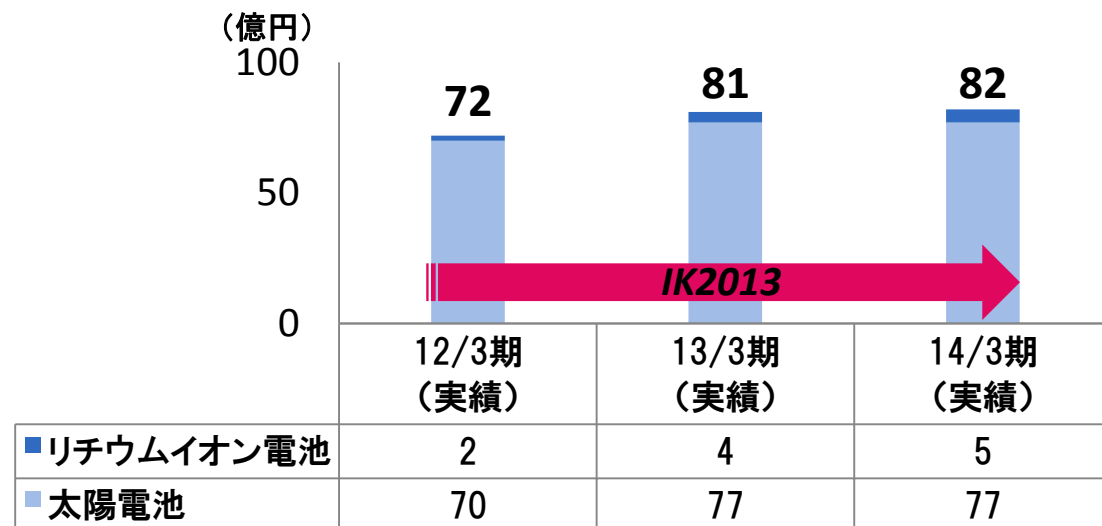
(+) 日本での全量買取制度継続による需要増

LIB (一) 期待されたEVや電力貯蔵用途が伸びず

(+) 日本ではHEVが活況を呈し始める

全体として中計において期待したビジネスの成長が得られず

⇒ 環境・エネルギー関連の課題として継続して取り組む



(※) EV : Electric Vehicle
HEV : Hybrid Electric Vehicle

4. グローバル人材育成のスピードアップ

- 日本からの海外赴任者を3年以内に100名とする
- 海外商社部門の増員
3年以内(2014年3月期)に最低600名、5年を目途に700名に

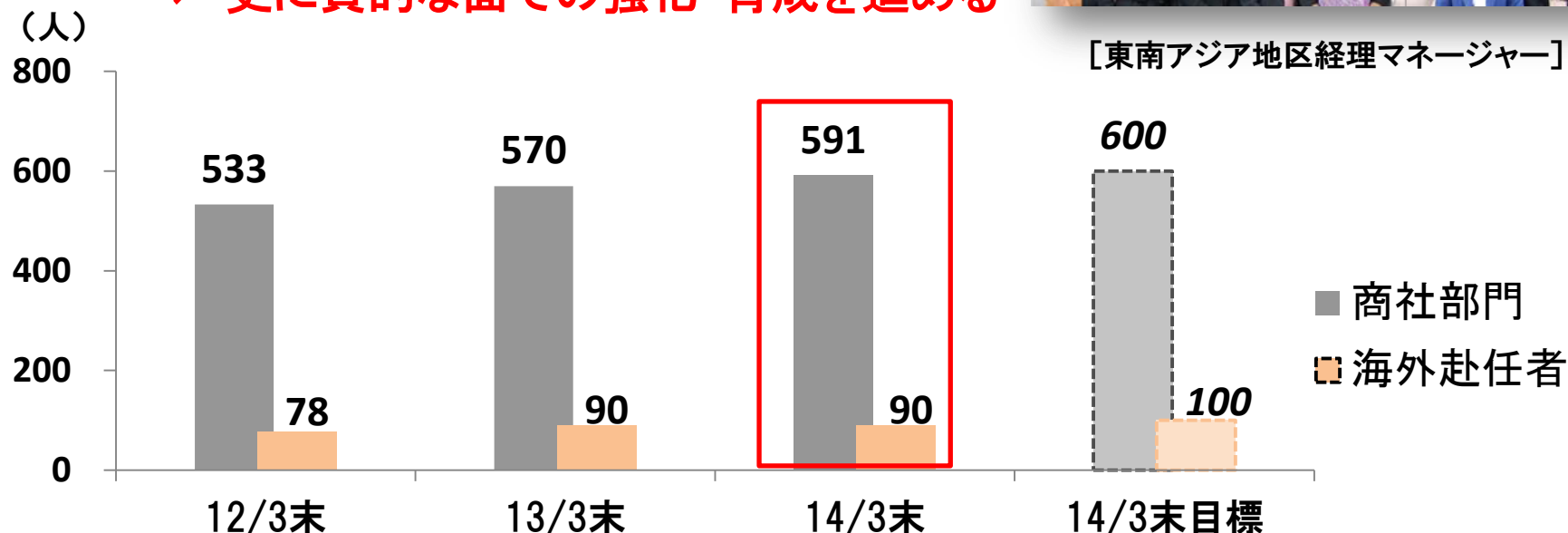
海外赴任者数 90名

商社部門 591名(2014年3月末現在)

⇒ 更に質的な面での強化・育成を進める



[東南アジア地区経理マネージャー]



5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

・3年間の投資枠を90億円に設定

2011年4月から2014年3月までの投資実績

累計 105億円

3カ年の主な実績:

合成樹脂49億円(コンパウンド事業関連 20億円、インフレ関連 10億円他)

情報電子23億円(液晶関連 20億円)

生活産業8億円(フランス医薬事業関連 5億円他)

化学品4億円、住環境1億円

□ 「IK2013」投資計画 90億円(新規 3年間合計)

既投資案件 : 継続的見直しによる選択と集中

新規投資案件 : 成長の期待できる事業分野と地域に重点的に配分

重点事業分野 : 「情報電子」、「合成樹脂」、「化学品」の3事業分野

重点地域 : 中国、インドを含むアジア地域、中南米

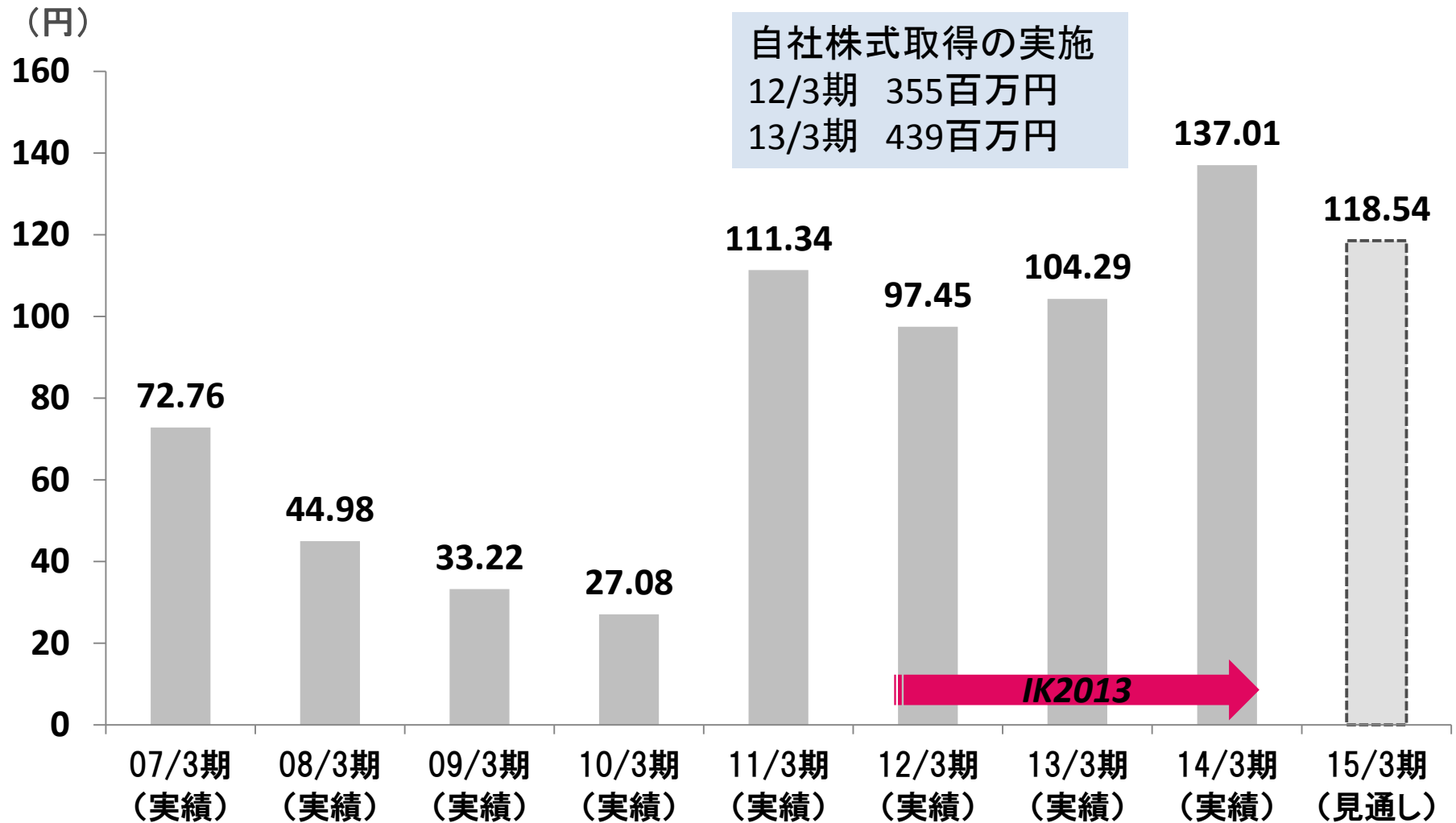
□ 配当方針:

**連結当期純利益の20～30%を配当の目安
1株当たり最低限年間10円の安定配当に努める**

□ 自己株式の取得: ⇒ 今後とも適宜、実施予定

**資本効率の向上を通じて、
株主還元、株主価値の向上を図る**

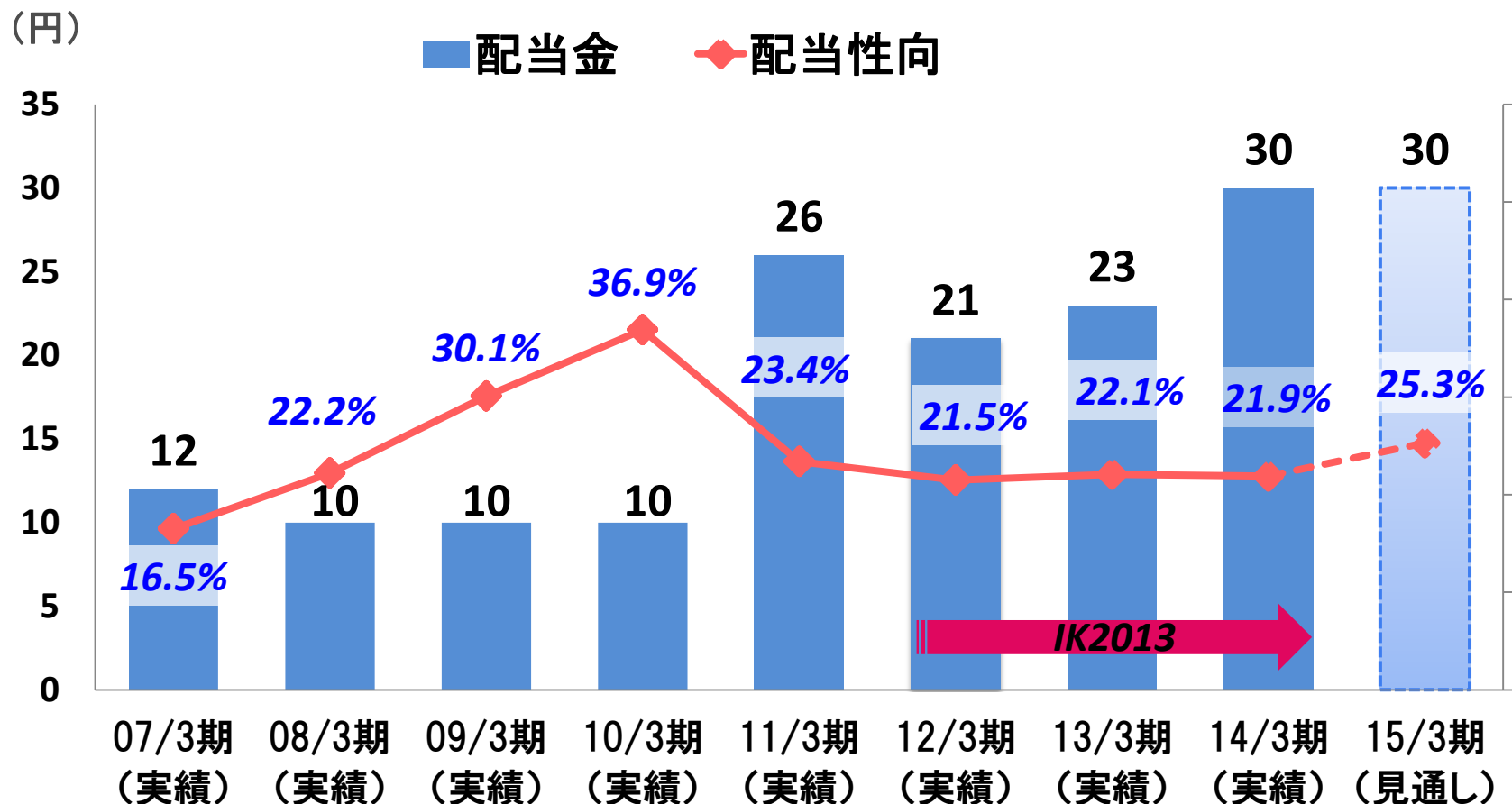
1株当たりの当期純利益推移(EPS)



株主への利益還元②

1株当たりの年間配当金と配当性向

配当性向 20～30%を目安



(※)11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

中期経営計画 「New Challenge2016」

2014年6月2日

稲畑産業株式会社

「New Challenge2016」の定量目標

中期経営計画目標(2017年3月期)

売上高	: 6,200億円
営業利益	: 125億円
経常利益	: 135億円
純利益	: 100億円
ROE	: 8.2%
ネットD/Eレシオ	: 0.45倍以下(※)
自己資本比率	: 38.0%
想定為替レート	: 1USD=100円

(※) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

「New Challenge2016」 6つの重点施策

1. 海外事業の更なる拡大と深化

- 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化
- アジア以外の新興国への取り組みの拡大
- 非日系企業との取引の拡大

2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- 自動車分野、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野への注力
- 新規取引先・新規商材を拡大し、収益の多様化を着実に進める

「New Challenge2016」 6つの重点施策

3. グローバル経営のインフラ整備・拡充

- グローバル経営を支えるリスク管理・経営管理手法の整備
- 情報システム、業務プロセスのグローバルな標準化の推進

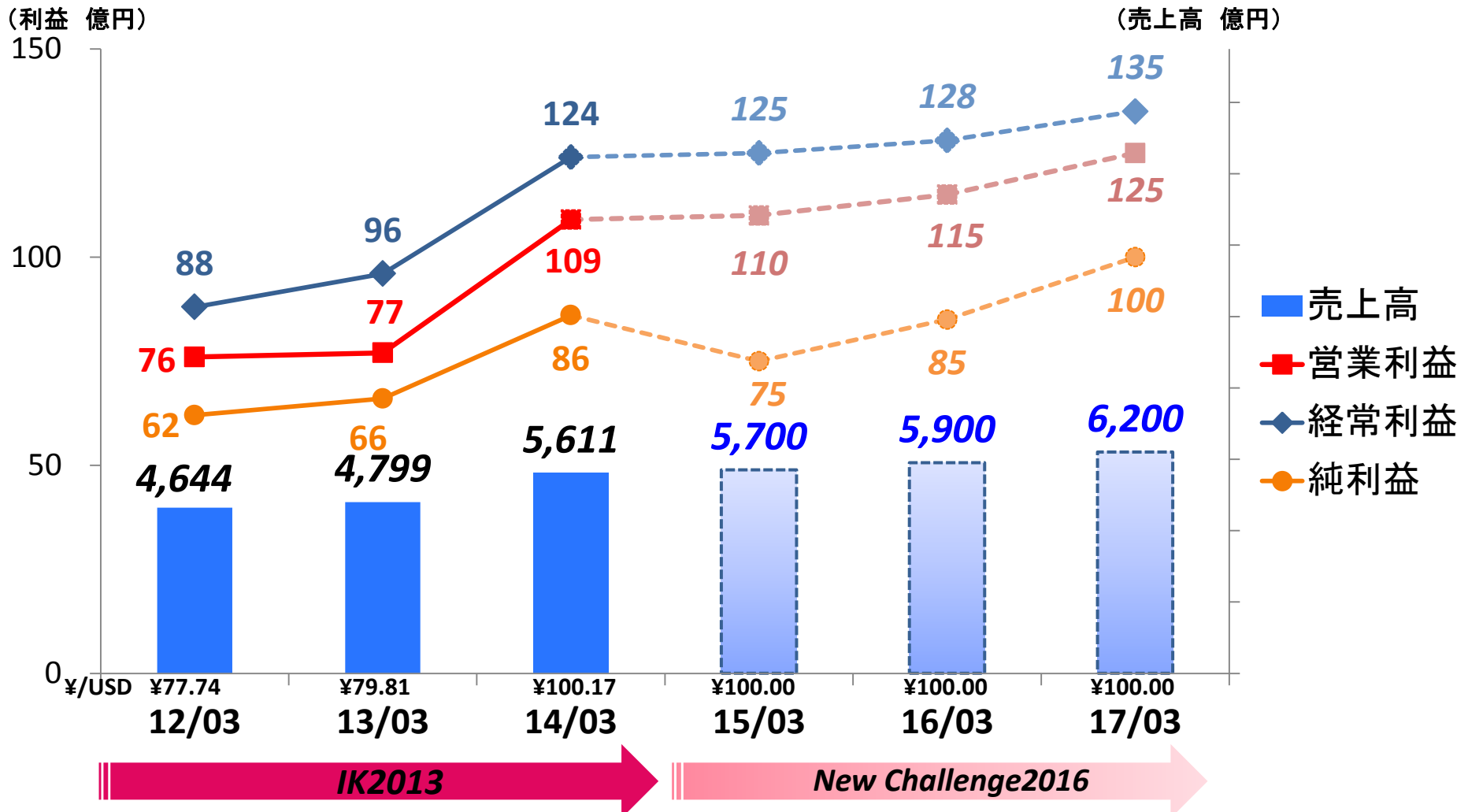
4. 将来の成長に向けた投資の実施

- 今後3年間の投資枠を100億円に設定

5. 資金効率・資産効率の更なる追求と財務体質の強化

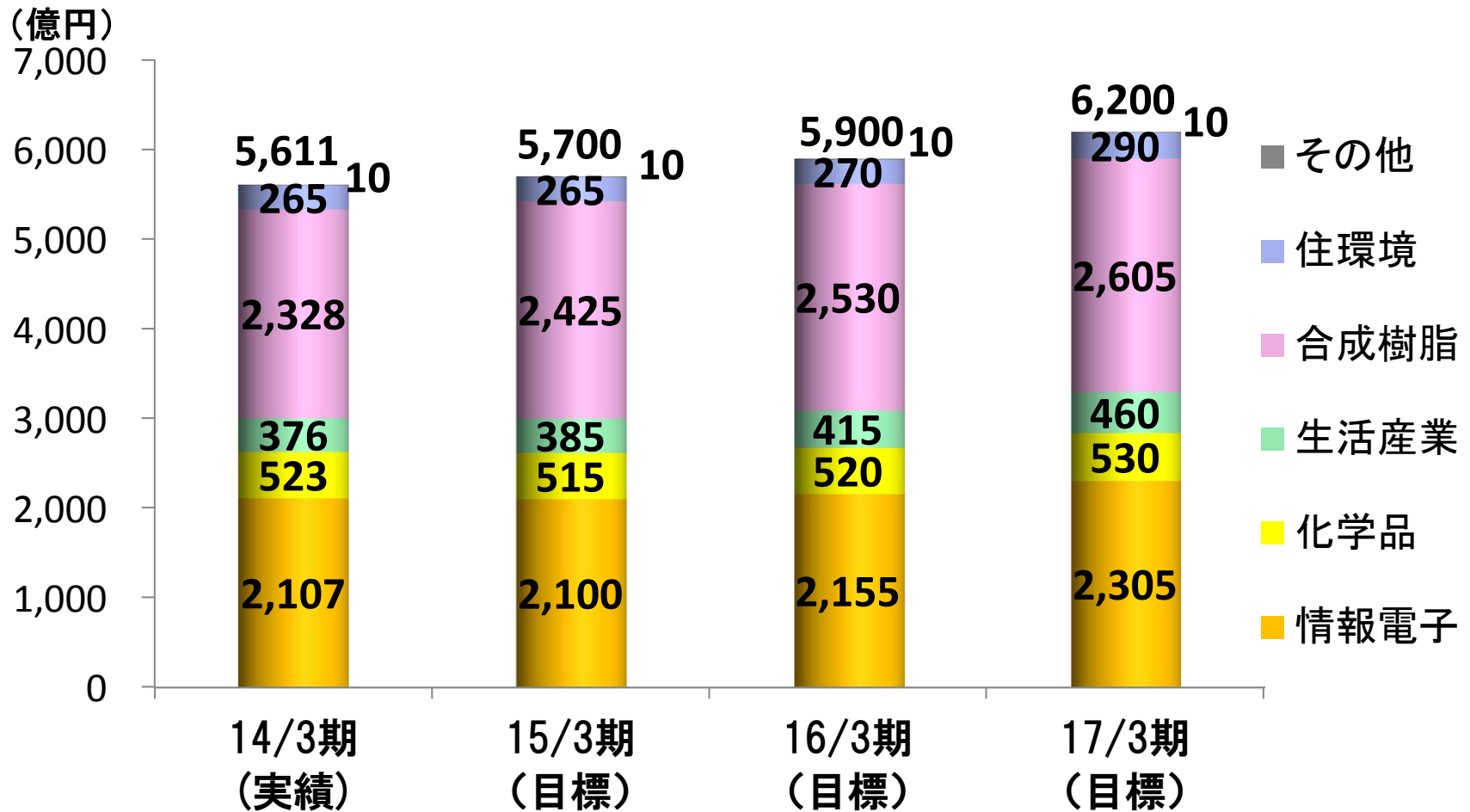
6. グローバル人材の継続的な育成

「New Challenge2016」 3力年定量目標



「New Challenge2016」:事業セグメント別売上高

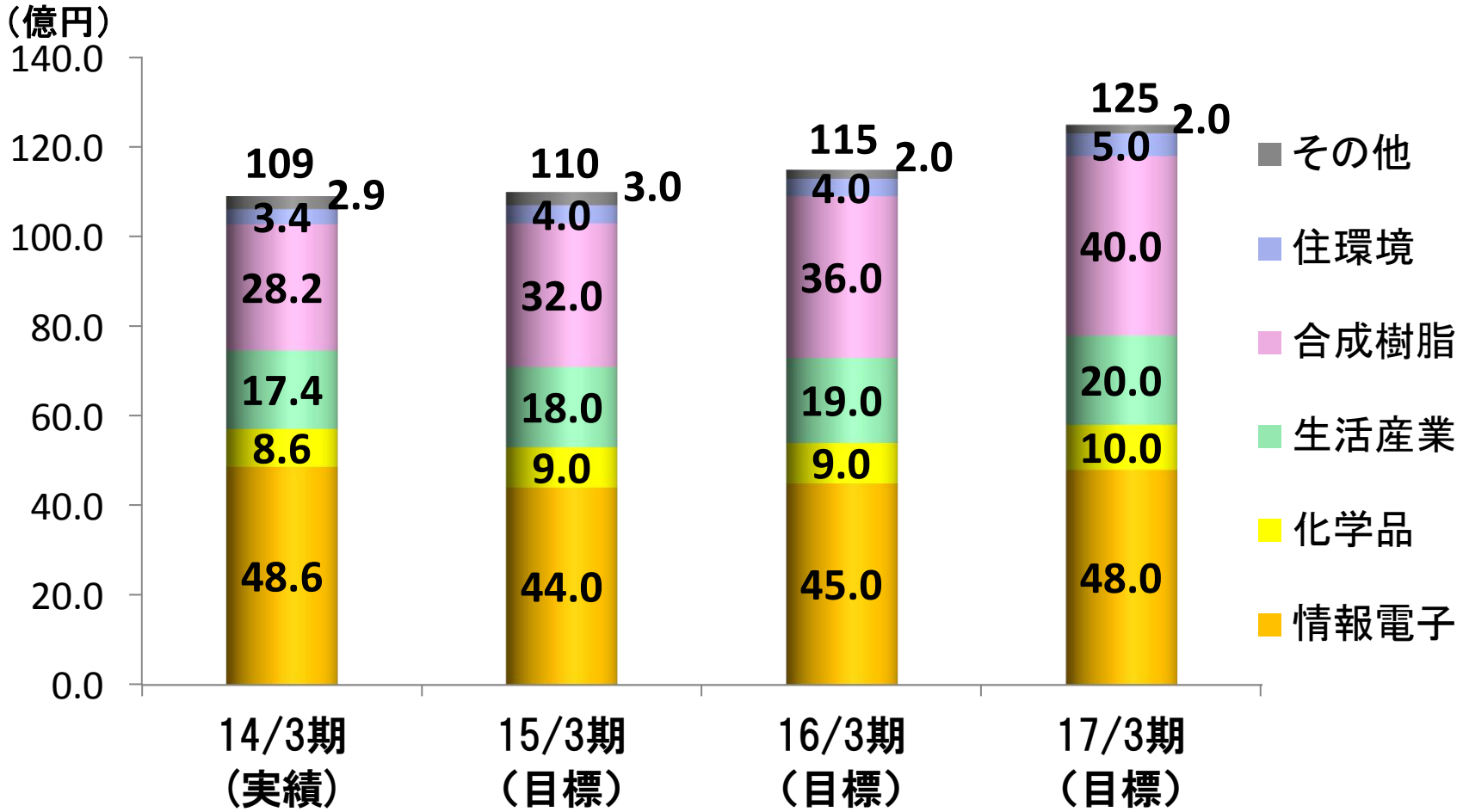
売上高



|| *New Challenge2016* →

「New Challenge2016」: 事業セグメント別営業利益

営業利益



|| *New Challenge2016* →

1. 海外事業の更なる拡大と深化

・ 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化

フィリピンでのコンパウンド事業の取り組み

日系OAメーカーの「チャイナプラスワン」の動きに併せて製造拠点を設立
2014年6月より生産開始

会社名 : IK PLASTIC COMPOUND PHILS. INC.
事業内容 : 合成樹脂着色・コンパウンド
生産能力 : 10,800トン/年
所在地 : フィリピン ラグナ州
生産開始時期: 2014年6月



【製造ライン(建設中)】

IK PLASTIC COMPOUND PHILS. INC.



1. 海外事業の更なる拡大と深化

・ 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化

ベトナムでのPE製袋製造拠点の設立

タイでポリエチレン(PE)製袋・フィルムを製造する子会社、Apple Film Co.,Ltd.の第二工場として、ベトナムに新会社を設立

2014年8月末より稼働開始予定

- ✓ 顧客の「脱中国サプライヤー」の動きに対応して供給能力を増強
- ✓ タイでは高付加価値品、ベトナムでは労働集約型の汎用品を生産

会社名 : Apple Film Da Nang Co., Ltd.

設立 : 2013年9月

事業内容 : ポリエチレン製袋(ゴミ袋、規格袋)の製造、販売

生産能力 : 当初2,400トン/年

所在地 : ベトナム ダナン市

稼働開始時期 : 2014年8月月末

販売先 : 大手スーパー等



「Apple Film Da Nang 建設現場全景」2014年5月撮影

1. 海外事業の更なる拡大と深化

・ アジア以外の新興国への取り組みの拡大

メキシコでのコンパウンド事業の取り組み

日系自動車メーカーの進出加速に合わせて製造拠点を設立
2013年11月工場完成、2014年6月より量産開始

会社名 : IK PLASTIC COMPOUND Mexico, S.A. de C.V.
事業内容 : 合成樹脂着色・コンパウンド
生産能力 : 10,200トン/年
所在地 : メキシコ中央部グアナフアト州シラオ
生産開始時期 : 2014年6月



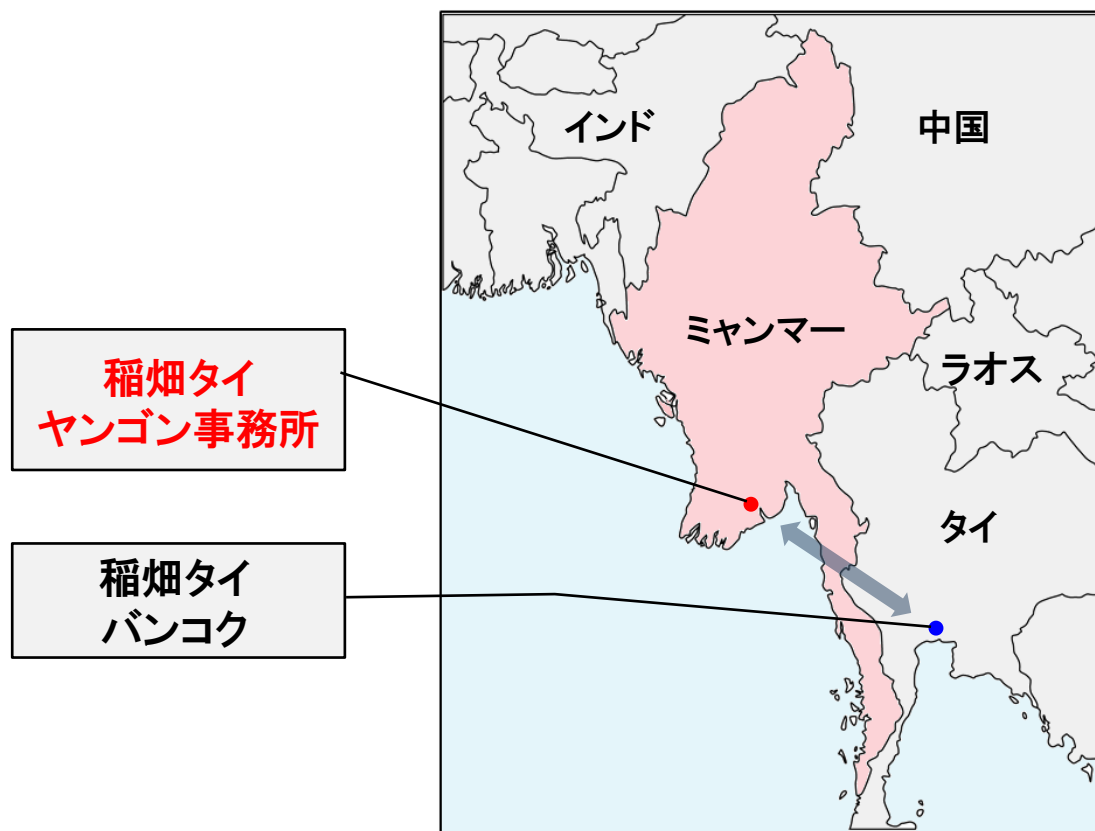
【外観】



参考資料

(参考)ミャンマーでの取り組み

民主化、開放路線が進み、多くの日系企業が進出を検討する
ミャンマーに、稲畑タイの駐在員事務所として、
2013年1月1日 ヤンゴン事務所を開設



経済インフラの未整備等により
本格的な工業化には時間がかかると
思われるが
将来のマーケットとして
情報収集を開始

- プラスチック成型品
- コンシューマーグッズ
- 海産品
- 木材加工品 など

(参考)トルコでの取り組み

欧州、中東、アフリカ向けビジネスのハブとなるトルコに
稲畑シンガポールの駐在員事務所として、2013年7月に
イスタンブール駐在員連絡事務所を開設

トルコに進出する自動車メーカーや
欧州の家電メーカー向け合成樹脂
を中心に、将来のトルコ及び周辺国
におけるビジネス開発と調査を開始

稲畑シンガポール
イスタンブール事務所



(参考)ブラジルでの取り組み

日系自動車メーカーが南米で注力するブラジルに、
稲畑アメリカの子会社として、2013年8月現地法人を設立
マーケット調査の段階から、ビジネス開拓へ前進

日系顧客を中心にビジネス基盤を構築し、
更に欧米企業や現地企業との取引をめざす

注力する分野
自動車業界における合成樹脂、化学品

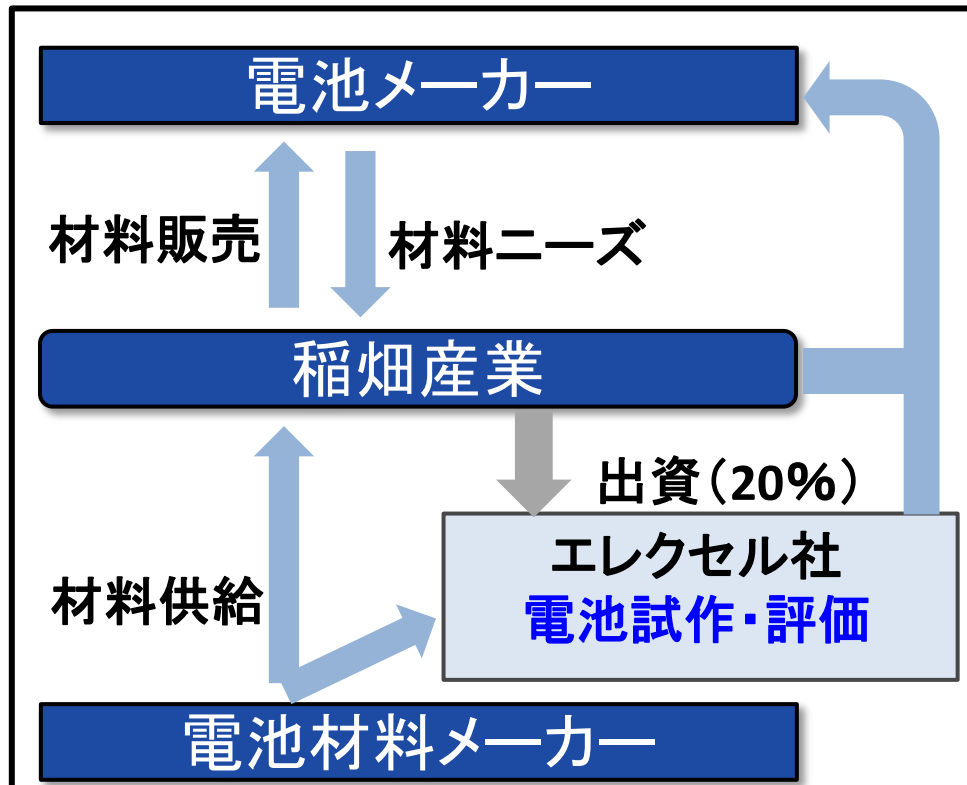
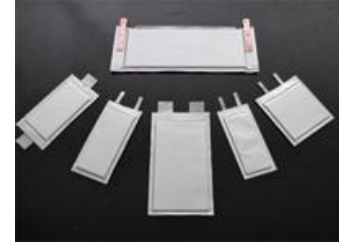
2013年10月末より業務開始

Inabata Brasil Importacao e
Exportacao Ltda



(参考)二次電池(LIB)関連ビジネスの展開

エクセル社による電池試作/評価事業を武器に
国内外で電池材料販売を展開



電池材料開発の活況により、試作・評価ビジネスも好調に推移

- 韓国電池メーカー向けに材料販売の実績
- ニッチ市場への売込の検討
- 電池システムの販売も視野

(参考)ライフサイエンス事業の取り組み

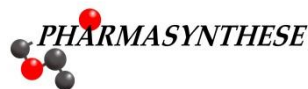
フランスのグループ会社 ファルマサンテ社において 医薬・化粧品の有効成分を製造

稲畑フランスでは、同社製品の販売を中心として
グローバルに医薬・化粧品関連の商社ビジネス拡大を進める

製造から品質管理まで日本基準を徹底



2013年4月、パリで開催された
化粧品関連展示会の当社ブース

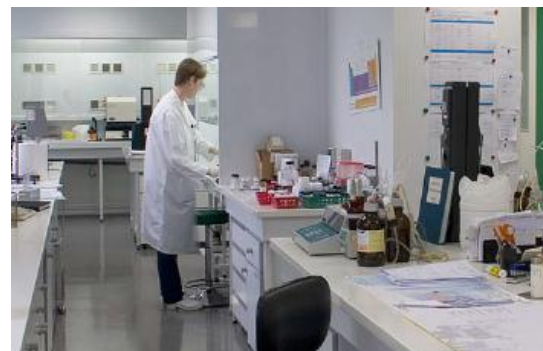


ファルマサンテ・フランス
Pharmasynthese S.A.S.

57, Rue Gravetel 76320 Saint Pierre Les Elbeuf, France

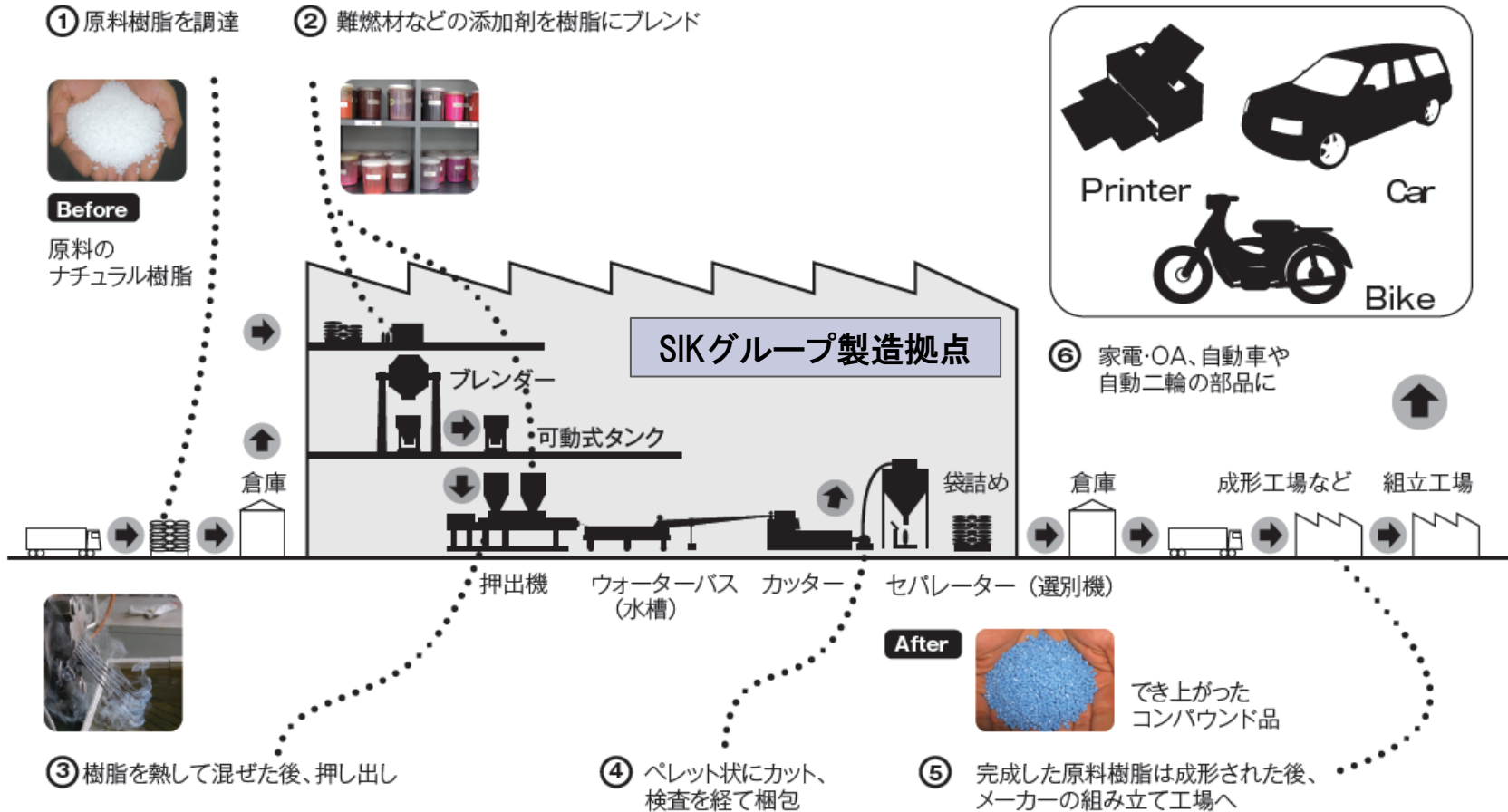
事業内容 医薬品・化粧品の有効成分の製造等

売上高 20億円(2014年3月実績)



(参考)樹脂コンパウンド事業の流れ

樹脂コンパウンドの流れ



(参考)「IK2013」経営指標の推移



	09/3期 (実績)	10/3期 (実績)	11/3期 (実績)	12/3期 (実績)	13/3期 (実績)	14/3期 (実績)
自己資本比率(%)	29.1	29.5	29.9	30.7	35.3	37.7
ROE (%)	3.1	2.7	10.4 (注)	8.5	7.6	8.1
ネットD/E レシオ(倍)	0.85	0.79	0.62	0.82	0.50	0.46

(注) 11/3期(実績)はアイケイファーマシー売却特別利益(税引前31億円)を含んだ数字で算出。

(参考)事業セグメント概要

情報電子



ディスプレイ・ケミカル装置	液晶ディスプレイ(LCD)関連、LED関連業界への部材の供給および各種製造装置の取扱いを中心に、新規分野への展開も視野に高度な専門知識を活かした提案型ビジネスを展開。
映像・情報	複写機、プリンター業界のお客様にインクジェットやトナー原料、カートリッジなどの各種部材の販売、また専門知識を活かした幅広いサービスを提供。
エネルギー・エレクトロニクス材料・電子材料	半導体、LED、タッチパネル、太陽電池、二次電池、産業用フィルム業界等のお客様に、原料からプロセス材料、製造・検査装置、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供。

合成樹脂



成型材	塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤やポリオレフィン系、スチレン系樹脂などの汎用樹脂から各種コンパウンド、エラストマー、エンジニアリング・プラスチック、合成ゴムまで幅広い仕入ソースを背景にお客様のニーズ、シーズに合致した提案や製品展開に注力
高機能樹脂	エンブラ、スーパーエンブラ、特殊樹脂を中心に家電、OA、電子部品、自動車、建材分野のお客様に提案
産業材	ポリオレフィン原料、フィルム製品が中心で、原料メーカーとのタイアップや海外展開により充実したサービスを提供。環境対応商品、高機能商品の開発にも注力。
フィルム・機能材	コンバーター業界に対するフィルムビジネスをコアに、工業材料分野・自動車分野にも製品展開を行い、汎用・高機能オレフィンフィルム販売から食品・工業用向け最終製品までのコーディネートを提供
シート・成形材	PP,PS,PET樹脂などのシート類やその原反のみならず製品加工までと原料から製品までと一貫介在し、物流コストの効率化・コスト低減に寄与

化学品



スペシャリティケミカル	自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界に高機能化学品をグローバルに展開。
パフォーマンスケミカル	塗料、インキ業界向けを中心としたコーティング原材料と製紙関連薬品、接着剤原料および製品等、幅広い商品をタイムリーに提供。

住環境



住宅建材	住宅メーカー・建材メーカー向けパーティクルボード、木材、集成材、建材、プラスチック製品などの販売
環境資材	住宅設備機器メーカー向け・非住宅分野向けに原材料から半製品・製品までの販売

生活産業



ファーマケミカル	ヒューマンヘルスケアの様々なシーンにおける医薬原料の提供
環境・ファインケミカル	日用必需品の原料調達をグローバルにサポート。商品の企画から製品までトータルソリューションを提供
食品	安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供

(参考)会社情報

会社名	稲畑産業株式会社
創業	1890年10月1日
設立	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 稲畑 勝太郎
本社	大阪本社/大阪市中央区南船場 一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋 本町二丁目8番2号
従業員数	602名〔連結3,577名〕
発行可能 株式総数	200,000,000株
発行済株 式の総数	65,159,227株

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
上場市場	東証1部
証券コード	8098
単元株式数	100株
株主数	4,579名
大株主の状 況(持株比率 上位3株主と 持株比率)	住友化学株式会社 21.8% 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口) 4.3% 日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口) 4.0%

(2014年3月31日現在)

人と人をつなぐ、あなたのベストパートナーでありたい。

IK 稲畑産業株式会社

□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 03-3639-6579 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。